

事例1

宮崎建築[新潟県阿賀野市]

過疎農村支える家守大工へ

断熱改修が技能価値を高める

父親から大工の道を受け継ぎ、妻を加えた3人で工務店を営む宮崎建築(新潟県阿賀野市)代表の宮崎直也さんは、過疎農村にあつて求められる大工工務店のかたちを模索。そのなかでいま、新潟の厳しい冬の苦痛を乗り越える断熱改修を主力としたリフォームに経営を絞り込もうとしている。

施工技能を磨く

宮崎建築代表の宮崎直也さんは地元工務高に「アルバイト」先の校の土木学科卒業。土木業界の景気が良かった当時は「公務員より確実な仕事と教えられ、将来は土木の仕事に就くもの」と漠然と考えていた。

父の重川材木店が主宰する大工育成学校「匠塾」に入塾。4年間働いたのが社会人としての出発だ。4年間は実物件の現場と座学で、同世代の大工仲間とともに住宅1棟を建てる木材加工技術を習得した。また身の回りの整理整頓や現場の清掃、施工に対するあいさつなど、大工としての礼儀作法を教わったことも大きな収穫になった。

「同世代の仲間と切磋琢磨しているなかで向上心が芽生えた」という宮崎さんは大工技能五輪大会に塾を代表して選ばれ全国大会出場。このときの経験が「技術さえあればどこでもやっていたい」という宮崎さんの志を固めた。

2014 がんばれ地場工務店 新 地元主義の極意



宮崎建築の新築施工例 S邸

すでに耐震診断・耐震改修のスキルは習得し、市の木造住宅診断士としても活動している。だが断熱改修は「気になりながら、方法が分からなかった」という。宮崎さんは震災翌年に

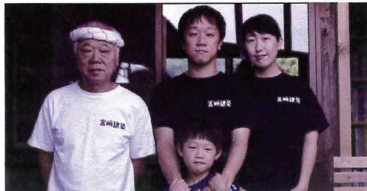
リフォームで「暖かい家」に

Advertisement for NMPC (Natural Material Performance Coefficient) featuring a list of products and their benefits for natural homes.

Advertisement for SANKO MR-200II moisture meter, highlighting its accuracy and ease of use for wood moisture measurement.

宮崎建築[新潟県阿賀野市]

宮崎直也代表(36・中央)



宮崎建築の3代目・英夫さん(写真左)、4代目直也さん(中央)、妻の康子さん(右)、長男の優闊くん(中央下)

明治時代からの大工家系。3代目・英夫さんは腕利きの大工として知られ、神社仏閣の修復を指名されるほど信頼は厚い。4代目の直也さんは2012年に代表を引き継ぎ、現在「暖かい家づくり」をテーマに断熱改修・耐震改修をコア技術にリフォームから建て替えて贈る新しい業態づくりを目指す。社員は父・妻と3人。年間リフォーム数十件、新築1~2年に1棟ペース。■0250-63-0235

知識が問われる。施工でも気密・結露対策・付加断熱など新しい領域。先達の工務店経営者に積極的に学びに赴いた。その一つの集大成となったのが2013年。2世帯住宅の大規模リフォームだ。

先達工務店や設計事務所の人に学ぶのは、「新築であれば、我々のような小さな大工工務店でなくても、もっと効率良くコストパフォーマンスを高く建てられる工務店が県内にもたくさんある」と思うようになった。

「地元の住宅の仕様はだいたい把握ができて、その知識を活かして、効率よい工事を提案できる」。宮崎さんが自ら見つけた自身の強みだ。

「利益を出すのが悪いから3年。同社の施工主には「若い世代に引き継いでほしい」という人も多く、耐震診断・温熱計算や補助金の申請にも対応してもらえぬ4代目直也さんを評価し、支持する。『昔は腕のいい仕事をひしひしと感じる毎日だ』という。

一方「暖かい家」をつくるリフォームの道に絞ることへの確信が、今は「いくらいい仕事をしても、知識と知恵がなければ生きていけない」「きちんと利益率を確保しなければ事業継続できない」と、これまで経営体制を大きく変えていく必要を「たい」と直也さんはい

「一般の施工主は建て替えるよりもリフォームの方が安い」と考えて相談をうける人が多く、「一方で、リフォームの現場では解体して初めて劣化に気づき、費用が高くなり、結局建て替えた方がよくなる」ということもあり得る。リフォームが建て替えるよりもコストが抑えられるというメリットが、宮崎さんの「建設コストが抑えられる」という強みを生かしている。

「一般の施工主は建て替えるよりもリフォームの方が安い」と考えて相談をうける人が多く、「一方で、リフォームの現場では解体して初めて劣化に気づき、費用が高くなり、結局建て替えた方がよくなる」ということもあり得る。リフォームが建て替えるよりもコストが抑えられるというメリットが、宮崎さんの「建設コストが抑えられる」という強みを生かしている。



宮崎建築の極意 地域で「必要とされる存在」でありたい

宮崎建築を引き継いでから3年。同社の施工主には「若い世代に引き継いでほしい」という人も多く、耐震診断・温熱計算や補助金の申請にも対応してもらえぬ4代目直也さんを評価し、支持する。『昔は腕のいい仕事をひしひしと感じる毎日だ』という。

「利益を出すのが悪いから3年。同社の施工主には「若い世代に引き継いでほしい」という人も多く、耐震診断・温熱計算や補助金の申請にも対応してもらえぬ4代目直也さんを評価し、支持する。『昔は腕のいい仕事をひしひしと感じる毎日だ』という。

「利益を出すのが悪いから3年。同社の施工主には「若い世代に引き継いでほしい」という人も多く、耐震診断・温熱計算や補助金の申請にも対応してもらえぬ4代目直也さんを評価し、支持する。『昔は腕のいい仕事をひしひしと感じる毎日だ』という。

「利益を出すのが悪いから3年。同社の施工主には「若い世代に引き継いでほしい」という人も多く、耐震診断・温熱計算や補助金の申請にも対応してもらえぬ4代目直也さんを評価し、支持する。『昔は腕のいい仕事をひしひしと感じる毎日だ』という。

「利益を出すのが悪いから3年。同社の施工主には「若い世代に引き継いでほしい」という人も多く、耐震診断・温熱計算や補助金の申請にも対応してもらえぬ4代目直也さんを評価し、支持する。『昔は腕のいい仕事をひしひしと感じる毎日だ』という。

「利益を出すのが悪いから3年。同社の施工主には「若い世代に引き継いでほしい」という人も多く、耐震診断・温熱計算や補助金の申請にも対応してもらえぬ4代目直也さんを評価し、支持する。『昔は腕のいい仕事をひしひしと感じる毎日だ』という。

「利益を出すのが悪いから3年。同社の施工主には「若い世代に引き継いでほしい」という人も多く、耐震診断・温熱計算や補助金の申請にも対応してもらえぬ4代目直也さんを評価し、支持する。『昔は腕のいい仕事をひしひしと感じる毎日だ』という。